

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	三重県明和町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	無形文化財記録映像作成事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
<p>明和町には、史跡齋宮跡や伊勢街道、祇園祭り等々、多時期にわたる多くの文化財・文化遺産が存在している。平成24年6月に認定された「明和町歴史的風致維持向上計画」において、重点地区とした史跡齋宮跡を中心に、これまで各種の保護・整備・活用を行ってきた。ただ、「明和町歴史的風致維持向上計画」では、重点地区の整備が主になっており、町内各所に点在する文化財・文化遺産は対象とならない。そこで、「明和町総合計画」に記されているような町内全域の文化財の保存と継承を行う必要がある。特に無形文化財である祭礼や伝統技術は、高齢化・少子化によって途絶える危機や伝承性の喪失などの問題がある。そのため、伝承用の映像を作成することで、貴重な文化遺産の記録作成を行う。また、伝承用映像とともに、一般公開用、普及用映像も作成し、活用することで、町民や外部の人々が一体となって文化遺産を保存していく体制の確立を目指す。</p> <p>明和町歴史的風致維持向上計画は (http://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/saikuuato/bunkazaik/1452225379971.html)を参照。 明和町総合計画は(http://www.town.meiwa.mie.jp/main/gyousei/shisaku/sougou/1465429781676.html)を参照。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 齋宮跡・文化観光課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整、また観光業務等補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>明和町日本遺産活用推進協議会（会長 下村 由美子） 構成団体(明和町、齋宮歴史博物館、公益財団法人国史跡齋宮跡保存協会、国史跡齋宮跡協議会、明和町商工会、明和町観光協会、齋王まつり実行委員会、大淀祭典委員会、明和太鼓保存会、明和音頭保存会、齋宮ガイドボランティア、明和町特産品振興連絡協議会、明和町郷土文化を守る会、明和町緑のまちづくり推進委員会、史跡齋宮跡・伊勢街道まちづくり会、齋王の舞保存会、呉竹倶楽部)</p> <p>補助事業終了後も引き続き、明和町の日本遺産をはじめとした各文化遺産の保存・活用の事業を明和町と共同して展開していく。</p> <p>また、各年度の事業終了後は、上記協議会や文化財保護審議会、文化財保存活用地域計画協議会などで事業報告を行い、評価を受ける。評価結果については、主に現在策定準備を進めている明和町文化財保存活用地域計画などの計画において反映し、更なる文化遺産の保存・活用を図っていく。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 18,700 千円	平成31年度要望額： 15,753 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>史跡齋宮跡は、これまでの積極的な調査保存活動、情報発信により、保存度・認知度が向上しつつあるが、町内に分布するそれ以外の様々な文化財・文化遺産については、全てを網羅するほどの調査保存活動や町内外での認知度・関心度が低い。本計画を実施することによって、主に無形文化財の調査研究・保存活動が行われ、文化財の価値が再認識される。それとともに、町内外への情報発信を積極的に行うことにより、無形文化財に対する関心や意識が向上することが想定される。また、それによって町の文化遺産に対する関心の高まりとともに、町への来訪者も増加することが見込まれる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	明和町歴史的風致維持向上計画に基づく事業として、史跡公園（区画道路）整備事業(町単独事業)や、史跡公園（齋宮跡祇戸広場）整備事業(社会資本整備総合交付金事業（都市再生整備計画事業【史跡公園（祇戸広場）】）)等の事業を行い、歴史的風致の向上に努める。		
事業概要：	明和町日本遺産活用推進協議会は、補助事業終了後、明和町からの財政支援も受けながら、共同して企画を立案し、日本遺産や文化遺産を活かしたもの（一部グッズは商品化済）を商品化・販売していき、自主財源確保に努める。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>「文化財保存活用地域計画」については、平成30年度に協議会を設置し、計画策定に向けた準備を行っており、本事業と連携しながら進めていきたい。</p> <p>「歴史的風致維持向上計画」は平成24年6月に認定済。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	明和町齋宮跡・文化観光課文化財係		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	本事業の保存団体数			関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 4 団体 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 4 団体					
設定根拠 1 :	町内祭礼の保存団体解散が危ぶまれる状況から現状維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
4 団体	団体	団体	団体	団体	団体	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	町内祭礼行事及び伝統工芸技術記録作成事業	実施団体：	明和町日本遺産活用推進協議会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度			
事業概要：	明和町内の無形民俗文化財について、記録映像と一般普及映像制作、活用促進のための情報発信を行う。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	普及版閲覧数（インターネット利用含む）					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 300 回					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
0 回	回	回	回	回	回	
0%						
事業②：	町内祭礼行事の情報発信事業	実施団体：	明和町日本遺産活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	平成30年度に自主的に行ったSNSを活用しての情報発信を強化して取り組む。祭礼や伝統工芸に関し、発信用情報を整理した上で専門家のサポートを受け、さらに広告運用等も活用した情報発信を行った上で効果を検証、今後の文化遺産活用情報発信の指針を作成する。					
評価指標区分：	・SNS上の情報発信の「いいね」の数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	Face Book「日本遺産のまち明和町（三重県）観光情報」のいいね数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 4,222 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 5,000 (単位)					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
4,222 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
0%						